

# ★あしや★ ハンズ・オン・キッズ



令和7年度、芦屋町青少年体験活動「あしやハンズ・オン・キッズ」事業では、町内の小学4年生から6年生まで32人の仲間たちが「1人はみんなのために、みんなは1人のために」をテーマにさまざまな体験活動にチャレンジしてきました。1年間の活動を研修生の感想と写真で紹介します。

## ロボットプログラミング

AI（人工知能）を使って小型のロボットを動かす体験をしました。AIの仕組みを知り、みんなで協力してロボットに学習させることができました。AIのことをもっと知りたいと思い、学ぶ楽しさを感じることができました。



## サマーキャンプ

事前の準備や安全に気をつけることが、みんなの笑顔につながると分かりました。これからも協力し合いながら、友だちと一緒に楽しむ工夫をしていきたいです。暑さや大変なことも、仲間と一緒に乗り越えることができ、最高のサマーキャンプになりました。

## エコ活

SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」について学習しました。物を作るときや使うときに、むだを減らしたり、リサイクルをしたりすることが大切だと学びました。これからも楽しい生活を送れるように、身近なことから取り組んでいきたいです。



## ものづくり

段ボールを使い、的当ての台を作りました。ゲームづくりから始めて大変だったけど、みんなで協力しながら作りあげたので、やりがいを感じました。役割分担をして、リハーサルをしたけれど、思ったよりむずかしかったです。

## 出店体験

たくさんのお客さんが来てくださり、ルール説明をリハーサル通りに臨機応変に対応できてよかったです。受付では小さい子との接し方やお金の扱い方を学びました。出店体験で嬉しかったのは、お客さんに「楽しかったです」と言ってもらえたことです。



## ウィンターキャンプ

クリスマスリースづくりは、楽しく作ることができました。片づけは、みんなで協力して早く終わらせました。そのおかげで自由時間が長くなりました。キャンプを通して、「自分のことは自分ですること」や「早めに行動すること」の大切さを学びました。

研修生たちは、さまざまな体験をとおしてチャレンジ精神を育むとともに、社会性や規範意識が芽生えてきたようです。あしやハンズ・オン・キッズでの1年間の活動が研修生の今後の生活に生かされ、地域や学校での飛躍につながることを期待しています。

